

登録コード	SD506300	開講年度	2026			市民開放授業				
授業題目	堆積学					担当教員	山田 昌樹			
英文授業名	Sedimentology					副担当				
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限		対象学年	3年		
講義室	理学部第10講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	必修	
信大コンベンション	非該当									
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】				
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ									
	【2023年度以降加修対象】理学の各分野における専門知識					堆積学に関する知識を身につけることができる。				
(2)授業で学べる「テーマ」	その他									
(3)全学横断特別教育プログラム										
(4)授業の概要	地層には，地球の歴史が記録されている．陸地の侵食によって生成された碎屑粒子は，水流や風などによって運搬されて地層を形成する．本授業では，地層が形成される様々な場所の堆積環境を学ぶ．地層から堆積環境や堆積過程を復元する方法も解説する．									
(5)授業のキーワード	堆積環境，堆積プロセス，堆積構造									
(6)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：地層学の復習：堆積岩の特徴 第3回：地層学の復習：堆積構造 第4回：堆積環境（扇状地） 第5回：堆積環境（河川） 第6回：堆積環境（三角州） 第7回：堆積環境（バリアー島） 第8回：堆積環境（エスチュアリー） 第9回：堆積環境（浅海域 - 大陸棚：波浪卓越型浅海） 第10回：堆積環境（浅海域 - 大陸棚：潮汐卓越型浅海） 第11回：堆積環境（海底扇状地） 第12回：堆積相解析の基礎 第13回：堆積相解析の実践 第14回：シーケンス層序学の基礎 第15回：シーケンス層序学の実践 第16回：期末試験，授業アンケート（15分）									
(7)成績評価の方法	期末試験（持込不可）と各回の小テストを総合して評価する．									
(8)成績評価の基準	期末試験70点，小テスト30点の合計100点で点数化し，90点以上をS（秀），80点以上をA（優），70点以上をB（良），60点以上をC（可），60点未満をD（不可）とする．									
(9)事前事後学習の内容	各回の授業内容を次週までに復習しておくこと．期末試験の前には，配付資料やノートをよく復習しておくこと．									
(10)履修上の注意	2年次の「地層学」の発展的内容なので，基本的に「地層学」の単位を取得済みであることを履修条件とする．									
(11)質問,相談への対応	メール：yamada@shinshu-u.ac.jp									
【教科書】	特になし．毎回スライドを配付する．									
【参考書】	Nichols, G., 2023, Sedimentology and Stratigraphy, 3rd Edition. WILEY. Grotzinger, J., Jordan, T.H., 2014, Understanding Earth: Seventh Edition. Bedford. 伊藤 慎, 2022, フィールドマニュアル 図説 堆積構造の世界．朝倉書店． 平 朝彦, 2004, 地質学2 地層の解説．岩波書店．									